

学年	教科等	題材名	日時
第1学年	音楽科	リズムとなかよし	令和元年7月8日(月)5校時
本時における「深い学び」	グループの友達と一緒に、コロッケをつくるときの料理の様子にふさわしい擬音語を考えたり、擬音語に合ったリズムを考えたりして音のイメージからリズムをつくる学び		

子どもが主体的に音楽と向き合うための題材構成の工夫

【前題材】おんがくにあわせて

【題材全体のねらい】体を動かしながら、曲の特徴をつかもう。

拍の流れ、速度

【本題材】リズムとなかよし

【題材全体のねらい】音や音楽に合わせて手拍子をしたり踊ったりしよう。

拍の流れ、速度

リズム、反復

前後の題材間や前後の一単位時間において、特に子どもに身に付けさせたり感じさせたりしたい共通事項について、関連して扱う。例えば同じ「拍の流れ」という共通事項を扱うときには、前題材で行った「拍の流れ」を身に付けさせたり感じさせたりするための活動よりも、少し発展的な内容にしたり、「拍の流れ」と「リズム」を同時に扱う内容にしたりすることで、子どもが無理なく、自然に活動を展開できるようにした(教材分析表、題材計画参照)。
今回は、本時扱う共通事項について、前時の活動で子どもに十分身に付けさせたり、感じさせたりすることができておらず、子どもの思考が広がらない原因の一つにつながった。

豊かな表現をつくり上げるための対話の在り方

※ 「るるんキッチン」は、教材曲「わくわくキッチン」の一部の歌詞(リズム)を変更した本学級独自のものです。

どんな音?どんなリズム?(導入)

「わくわくキッチン」を「るるんキッチン」にしよう!



卵を割る音って、どんな音?どんなリズム?

「るるんキッチン」では、コロッケにしよう!まずは、料理の仕方の映像を見てまねっこをしてみよう。



「とんとん」ってたたいて、「ばか」っていう音がするよ。リズムにすると「たん、たん、たた」かな。



じゃがいもをつぶすときは、「ぐじゃ?」「つぶ?」

油は、「ばちばち」って言っているのをうちで聞いたことがあるな

じゃあ、グループで、どんな音にするか話し合ってみよう。

生活経験や技能の差を考慮し、グループ活動にしました。

音はできたけど、なんか、まだ足りないね...一緒にたたくりズムはどうしたらいいかな?グループで考えよう。

「♪まあるく〜」なら、その後は「こねこねこね」がいいよ。

「♪おいしそう〜」は「かりかりかり」にしたいんだけど、「たんたんたん」と「たたたたたた」のどっちが合うか、決められないな。

いや、最後は「ぼん」でできるんだよ。



ぼくは、「たたたたたた」って速い方が「かり」っていう音に合っていると思うよ。



じゃあ、まあるくするときには、「こねこねぼん」だね。



今回は、グループで考えさせる場を設定することで、様々な考えにふれることができていました。一方で、個人の思いをリズムへと表現する機会が少なかったり、一つ一つの内容が深まらなかつたりする様子が見られました。一つの項目を取り上げて、全体でじっくり考えさせる方法も効果的であるという意見もいただきました。

御意見・御質問はこちら(研究部アドレス)
miyafuken@cc.miyazaki-u.ac.jp

授業実践計画

6 指導計画（6時間）詳細は別紙参照

- (1) 身近な音や音楽の真似をしたり、手拍子をしたりして、本題材への思いをもつ。—1時間
- (2) 休符の特徴を生かしてリズムを打ったり、リズムづくりをしたりする。———2時間
- (3) リズムに合わせて体を動かす。———1時間
- (4) 料理の様子を擬音語を基に、リズムを工夫してつくり、表現する。———2時間（本時2／2）

7 本時の目標

自分たちで考えた料理の擬音語に合わせて、工夫してリズムを打つことができる。

8 指導過程

学習活動及び学習内容	教師のかかわり
<p>1 料理する様子の動画を見て、言葉で表したり、リズムを打ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 料理をする様子のリズム打ち ○ 本時学習のめあて <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>るんるんキッチンをつくってうたおう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な料理の様子を動画を見せ、真似をさせる。さらに、擬音語で表現させたり、リズムを打たせたりすることで、様々な料理の様子を擬音語やリズムで表現する方法をつかむことができるようにする。
<p>2 本時学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時学習の流れの確認 <ul style="list-style-type: none"> ・ わくわくキッチンの歌唱と確認 ・ リズムづくりと練習 ・ るんるんキッチンの歌唱 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 何ものっていない皿のイラストを提示し、活動が進むと料理が完成することを伝えることで、全体の見通しと同時に、「るんるんキッチン」完成への意欲をもたせることができるようにする。
<p>3 わくわくキッチンを歌唱し、るんるんキッチンで工夫する箇所を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ わくわくキッチンの歌唱 ○ リズムづくりの箇所の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ○ るんるんキッチンでは、料理が変わることを告げ、料理の手順を確認することで、リズムづくりの箇所を知り、後のグループ活動に見通しをもって臨むことができるようにする。
<p>4 グループで料理の様子と、それに合わせた手拍子を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ るんるんキッチンのリズムづくり ○ アドバイスタイム ○ グループの表現の見直し <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>じゃがいも（ ぐちゃ ぐちゃ ぐちゃ ）</p> <p>にんじんを（ とん とん とん とん ）</p> <p>まあく（ こね ぼん ぼん ）</p> <p>パン粉を（ さく ぼん ぼん ）</p> <p>あぶらで（ ばち ばち じゅう ）</p> <p>おいしそう（ ほく ほく ぺろん ）</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活経験の差や、拍を感じ取る技能の差を考慮し、グループで活動をさせる。 ○ 料理をしている写真を提示することで、その時の動きや音をイメージできるようにする。 ○ 擬音語で表現する段階、擬音語からリズムをつくる段階と順を追って全体で活動内容を確認することで、話合う内容を焦点化して進めることができるようにする。 ○ 一つのグループのリズムを取り上げ、全員でアドバイスをする時間を設けることで、自分のグループを見直す視点があるか、確認することができるようにする。
<p>5 全員で「るんるんキッチン」を歌い、感想を共有してまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ るんるんキッチンの歌唱 ○ 友達と一緒にリズムづくりをした感想 	<ul style="list-style-type: none"> ○ るんるんキッチンを歌唱した後に、おもしろかったところやよかったところを共有させることで、友達のアイディアのよさや一緒に作り上げた一体感を感じることができるようにする。

9 めざす子どもの姿

油で揚げるときの音は、「ばち、ばち、ばち」にしようかな。でも、「じゅう」という音も入れたいな。リズムは、「たん、たん、たん」よりも、「たた、たた、たん」の方がことばに合っている感じがするから、みんなで合わせてそのように演奏しよう。

【知識・技能】



**おんがくに
あわせて**

体を動かしながら、曲の特徴をつかもう。

拍の流れ
速度

**リズムと
なかよし**

音や音楽に合わせて手拍子をしたり踊ったりしよう。

- 四分音符と四分休符のリズムを生かした音遊び
 - ・ 擬音語でまねっこ
 - ・ 手拍子と手合わせ
- 四分音符と四分休符のリズムを組み合わせた音遊び
 - ・ リズムづくり（個人・ペア）
 - ・ 打楽器でリズム打ち
- 四分音符と四分休符のリズムを基にしたジェンカの表現
 - ・ ジェンカのリズムに合わせた踊り
- 四分音符と八分音符を組み合わせた音遊び
 - ・ リズム打ち
 - ・ 擬音語遊びとリズムづくり

拍の流れ
速度

リズム
反復

**どれみと
なかよし**

音の高さと階名を感じ取って、曲に合わせて演奏しよう。

拍の流れ
旋律
音の高さ

題材計画（全6時）

時	本時の目標	共通事項	○主な学習活動 ・ 内容	教材
1	身の回りの音や音楽に合わせてリズムを打つことができる。	リズム 拍の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身の回りにある音に合わせてリズムを打つ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 擬音語やリズムでの模倣 ○ ぶんぶんぶんを歌いながら、音楽に合わせてリズムを打つ。 	野菜を切る音 時報の音 くつの音 横断歩道の音 ぶんぶんぶん
音や音楽に合わせて手拍子をしたり踊ったりしよう。				
2	四分音符と四分休符の役割に気付き、音楽に合わせてリズムを打ったり、組み合わせて音遊びをしたりすることができる。	リズム 拍の流れ 速度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な速さのぶんぶんぶんに合わせて、リズムを打ったり、手合わせをしたりする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「普通→速い→遅い」に合わせた表現 ○ 四分音符「たん」と四分休符「うん」を組み合わせてオリジナルリズムをつくる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ たんとうんで1小節分のリズムづくり ・ リズム打ち 	ぶんぶんぶん たんとうんで音づくり
3	四分音符と四分休符の組み合わせによるリズムのおもしろさに気付き、工夫して音遊びができる。	リズム 拍の流れ 反復	<ul style="list-style-type: none"> ○ ペアでつなげてリズムを打ったり、打楽器で演奏したりして、感想を共有する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ペアでつなげてリズム打ち ・ 打楽器での表現 ・ 工夫したリズムのおもしろさの共有 ○ しろくまのジェンカを歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 音や歌詞の確認 	たんとうんで音づくり しろくまのジェンカ
4	ジェンカの曲に合うリズムを見付け、体を動かしながらリズムに合わせて表現することができる。	リズム 拍の流れ 反復	<ul style="list-style-type: none"> ○ しろくまのジェンカを歌いながらリズムを打つ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ジェンカのリズムの確認と模倣 ○ しろくまのジェンカを歌いながら、手拍子以外の表現を考えて、動く。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 手拍子以外のリズム表現と模倣 ・ ステップの確認 ○ ジェンカを聴きながら、体を動かし、しろくまのジェンカとの共通点を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ジェンカのステップ確認 ・ 2曲の共通点の確認 	しろくまのジェンカ ジェンカ
5	四分音符や八分音符の違いを感じながら、音楽に合わせてリズムを打ち、歌うことができる。	リズム 拍の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 四分音符と四分休符、八分音符のリズム打ちクイズをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 八分音符を混ぜた音遊び ○ わくわくキッチンを歌唱し、擬音語に合わせてリズム打ちをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 歌詞の確認 ・ 擬音語とリズムの関係の確認 	わくわくキッチン
6	自分たちで考えた料理の擬音語に合わせて、工夫してリズムを打つことができる。	リズム 拍の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 料理の様子を擬音語を確認し、それに合わせてリズム打ちをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 料理の様子を擬音語づくり ・ 擬音語に合うリズムづくり ○ コロッケの料理の様子から、そのときのリズムを工夫し、1年3組オリジナルの「るんるんキッチン」をつくって歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 料理の様子に合ったリズムづくり ・ るんるんキッチンの表現 	わくわくキッチン